# データテープカートリッジ
# の
# 取り扱い注意

磁気記録媒体標準化専門委員会
Technical Standardization Committee on Magnetic Recording Media

2009年2月



資料としてご使用の際には、出典元（当委員会）を明記のこと

☑ テープカートリッジを使用する場合は、以下の環境条件を守るようにしてください。

| | | DDS/DAT | 8mm系 | DLT/SDLT | LTO | Enterprise系 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用環境 | 温度（℃） | 5～45 | 5～45 | 10～40 | 10～45 | 16～32 |
| | 湿度（%RH) | 20～80 | 20～80 | 20～80 | 20～80 | 20～80 |

☑ 外部から持ち込まれたデータカートリッジの使用、もしくはデータカートリッジを外部へ持ち出す時は、急激な環境変化からの影響をさけるため、外部に置かれた時間と同程度の時間を目安にデータカートリッジを使用環境になじませてから、使用するようにしてください。
急激な環境変化は、テープの巻き状態を不安定にしたり結露したりし、エラーの発生や寿命を短くする原因になることがあります。
例：　外部で4時間→4時間程度なじませる。
　　外部で1日以上→半日程度なじませる。

＜結露の例＞


資料としてご使用の際には、出典元（当委員会）を明記のこと

☑ テープカートリッジを保管する場合は、以下の環境条件を守るようにしてください。

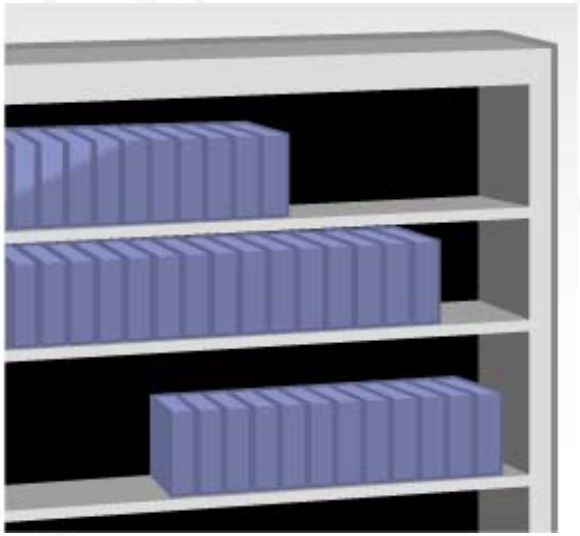
| | | DDS/DAT | 8mm系 | DLT/SDLT | LTO | Enterprise系 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 保管環境 | 温度（℃） | 5～32 | 5～32 | 18～26 | 16～32 | 5～32 |
| | 湿度（%RH) | 20～60 | 20～60 | 20～80 | 20～80 | 5～80 |

☑ データカートリッジを長期間保管するときは、データカートリッジを付属のケースに収納の上、保管してください。

☑ ゴミ・ホコリの多い環境で保管しないでください。

☑ 直射日光の当たる場所では、温度上昇に注意してください。

☑ 記録済み、未使用品にかかわらずデータカートリッジは、
保管条件を満足する環境で保管してください。





資料としてご使用の際には、出典元（当委員会）を明記のこと

- ☑ データカートリッジを輸送・運搬する場合は、輸送中の強い衝撃からカートリッジを守るために、付属のケースに入れ、さらに緩衝材等により包装し適切な大きさの箱に入れてください。（可能であればカートリッジを垂直な状態で収納してください。）

- ☑ カートリッジ輸送用の専用ケースも市販されていますので、ご利用ください。

- ☑ 直射日光を避け、常温での輸送をお勧めします。
- ☑ 開梱時の急激な温度変化による結露を避けるために、十分にその部屋の温度になじませてから開梱ください。（1項　使用環境上の注意参照）
- ☑ 空港のセキュリティ検査のX線照射は問題ありません。


資料としてご使用の際には、出典元（当委員会）を明記のこと

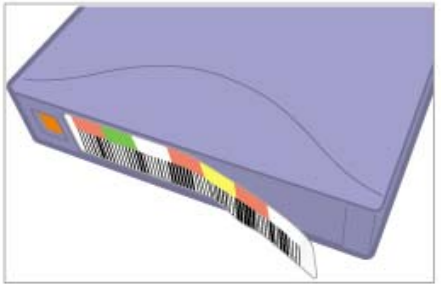
☑ ラベルの種類

ラベルには、「接着タイプ」と「挿入タイプ」の2種類があります。「挿入タイプ」のカートリッジ（DLT/SDLT）には「接着タイプ」ラベルを使用しないでください。

☑ ラベルの選択

データカートリッジに貼付する「接着タイプ」のラベルは、接着性の良いラベルを使用することが重要です。品質が悪いラベルを使用すると、使用中にラベル剥がれ等が発生し、ドライブやライブラリー装置内で障害が発生することがあります。また、「挿入タイプ」のラベルは、厚みや剛性等が適切なものを使用することが重要です。

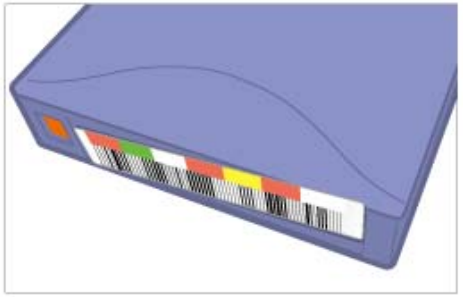
必ず、カートリッジに添付されているラベルまたはシステムメーカやメディアメーカが推奨するラベルを使用してください。特にバーコードラベルについては、システムとの互換性を確保するためにシステムメーカ推奨のバーコードラベルをご使用ください。



<ラベル剥がれの例>

☑ ラベルの貼り方

「接着タイプ」は所定の位置からはみ出さないようにきちんと貼る注意が必要です。所定以外の位置や場所にラベルを貼ると、ドライブやライブラリー装置内でラベルが剥がれる等のトラブルやバーコードの読み取りエラーが発生したりします。

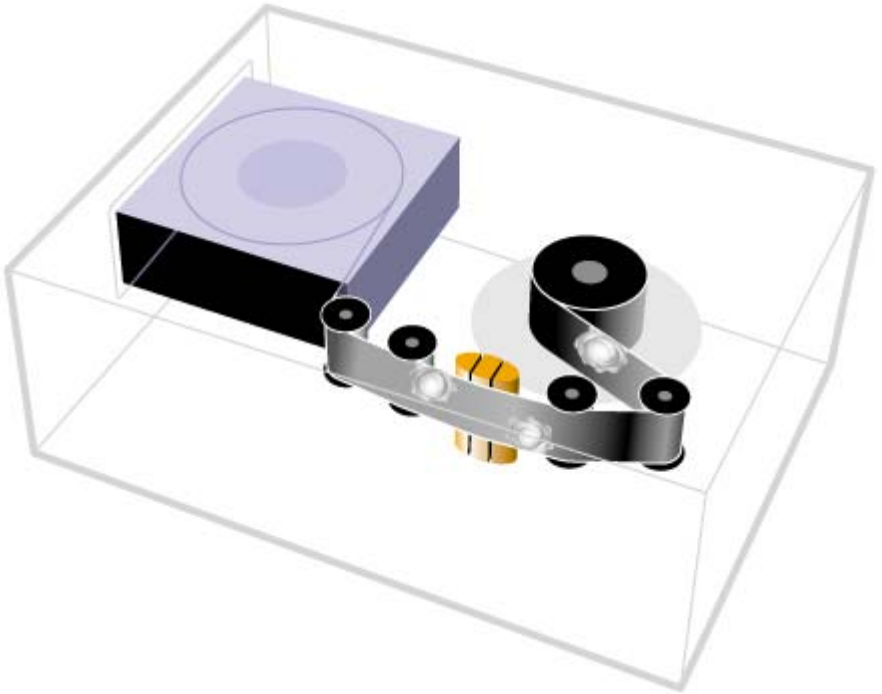


<ラベルはみ出しの例>



資料としてご使用の際には、出典元（当委員会）を明記のこと

☑ 磁気テープ装置では、ゴミ・ホコリが磁気テープとヘッドの間に入ると、適切な記録再生ができずエラーの原因になる場合があります。
このため、クリーニングカートリッジで装置のテープガイドや磁気ヘッドの清掃を定期的に行うことが重要です。

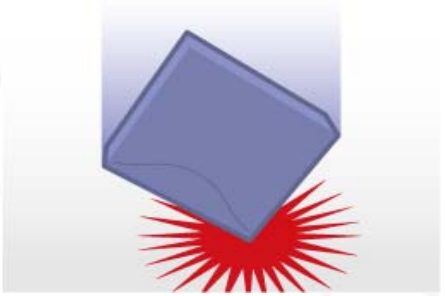


**その他注意点**

・ドライブがクリーニングを要求したらクリーニングを行ってください。
・クリーニングテープは規定回数に達すると再使用はできません。
※クリーニング回数は装置によって異なりますので、機器の取扱説明書を参照してください。

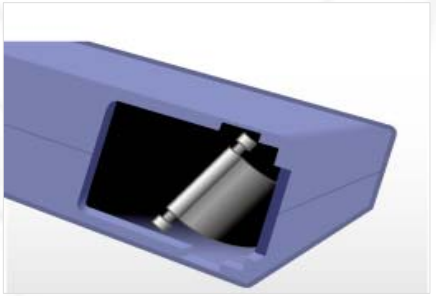

資料としてご使用の際には、出典元（当委員会）を明記のこと

- ☑ データカートリッジには磁気テープの他に精密な部品や電子回路が使われている商品もあります。
  また、落下により怪我をする危険もありますので落下させない様、取り扱いには十分注意してください。



- ☑ 落下するリスクを最小にするために、データカートリッジを保管又は移動させる際は、データカートリッジを高く積み上げないでください。
  また、落下した場合のダメージを軽減するために、保管、移動の際は、付属のケースに入れるようにしてください。

- ☑ 落下させてしまった場合、外観に異常がなくともカートリッジがダメージを受けている可能性がありますので、継続使用は控えてください。
  例えば、LTOの場合、リーダーピンが正しい位置からずれている可能性があります（右図参照）。





資料としてご使用の際には、出典元（当委員会）を明記のこと